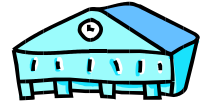


学校再編ニュース

《第13号》(平成27年2月27日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)
電話 0134-32-4111(内線 537)
FAX 0134-33-6608
Eメール gakkō-tekisei@city.otaru.lg.jp

～ 市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めています ～

平成 28 年、29 年に統合を予定している学校では、統合関係校ごとに教職員・保護者・地域の方々に構成する統合協議会を設置して、統合に関わる諸課題を協議しています。今号では、各統合協議会での協議概要や取組状況を紹介します。また、平成 24 年 4 月に量徳小学校と統合した花園小学校 PTA のお二人から、今の学校の様子などについてお話を伺いました。

1 手宮地区小学校統合協議会(平成 28 年 4 月統合 北手宮小・手宮西小・手宮小・色内小)

第5回 統合協議会(平成 26 年 9 月 25 日開催)

校名・校歌・校章に関する部会から報告のあった校名候補を基に活発な議論が交されました。応募のあった中から一次選考として部会で選定した六つの校名候補をさらに絞り込むべきとの意見がありましたが、最終的にこの6案を校名候補として、議論経過を含め教育委員会に報告することが決定されました。

【六つの校名候補】

手宮中央、手宮公園、桜の丘、手宮の丘、北陵、若葉



～ 統合校の校名が「手宮中央小学校」に決まりました～



昨年9月に完成した新校舎

昨年8月に、広く皆さんから校名案を募集した結果、129件の応募がありました。たくさんの御応募をいただきありがとうございました。

統合協議会における校名候補の選定、教育委員会での協議、市議会の議決を経て、統合校の校名は「手宮中央小学校」と決定しました。

校名は、北海道鉄道発祥の地として本道の開拓を支えた歴史ある地域とともに児童を育む学校であること(手宮)、4校が統合した新しい小学校であること(中央)に由来しています。

第6回 統合協議会(平成 27 年 2 月 20 日開催)

学校づくり部会から示された、新しい学校の教育課程編成にあたっての基本的な考え方が了承されました。昨年3月に策定したグランドデザインを基に、地域の歴史と伝統を受け継ぎ、地域のコミュニティの中心となって活動する学校を目指します。

学校支援部会からは、統合による新たな通学路の安全確保に関して、注意箇所等の現地確認を行ったこと、学校と地域の連携に関して、北手宮小の伝統行事である雪まつりを継承してほしい、祭典時の町会行事に配慮してほしいといった意見があったことなどが報告されました。また、校名等に関する部会からは、統合校の校名が「手宮中央小学校」と決定したことを受け、新たな校章のデザインと校歌(歌詞、作曲)の作成に向けて協議を進めていく旨の報告がありました。

2 色内小学校・稲穂小学校統合協議会（平成28年4月統合）

学校づくり部会（平成26年11月25日、平成27年2月18日開催）

統合を機に、色内小が進める学校と地域が連携した取組や稲穂小の学校力向上に関する総合実践事業の取組といった両校の特色を生かし、「地域とともにある学校づくり」を推進していくことなどを部会案としてまとめました。また、児童の事前交流や統合校の校名等についても協議しています。



学校支援部会（平成26年8月20日開催）

統合による新たな通学路の安全確保に向けて、主な通学路となることが見込まれる道路や注意箇所などについて意見交換を行い、現地確認を実施することとしました。また、学校と地域の連携や統合校のPTA組織についても検討しています。

3 長橋小学校・色内小学校統合協議会（平成28年4月統合）

学校支援部会（平成26年8月25日開催）

色内小・稲穂小統合協議会と同様に、主な通学路となることが見込まれる道路や注意箇所などについて意見交換し、現地確認を行うこととしました。また、学校と地域の連携や統合校のPTA組織についても検討を行っています。



4 塩谷中学校・長橋中学校統合協議会（平成28年4月統合）

第3回 統合協議会（平成27年2月16日開催）



新しい学校づくりに向けて、学校づくり部会がまとめた教育課程編成にあたっての基本的な考え方が了承されました。両校の伝統などを重んじながら、生徒の規範意識の醸成や主体性の育成、地域の特性や教育力の活用、積極的な社会貢献活動などに重点的に取り組むこととしています。また、塩谷中と長橋中との統合に際しては、長橋中学校の校名、校歌、校章を使用することが了承されました。

5 北山中学校・末広中学校統合協議会（平成29年4月統合）

第1回 統合協議会（平成26年11月10日開催）

北山中と末広中の統合に向けて統合協議会が発足しました。統合中学校の校舎は現在の手宮西小を転用します。会議では設置要綱を決定後、正副会長を選出し、「学校づくり部会」「学校支援部会」「校名・校歌・校章に関する部会」の3部会を設けることなどが決定されました。また、統合校の制服等について、先行して検討していくこととしました。



第2回 統合協議会（平成27年2月3日開催）

統合校の制服等について、12月に開催した学校づくり部会での協議内容が報告されました。統合を迎える平成29年4月に入学する新1年生から制服を統一し、在校生は両校の現在の制服を着用することが了承されました。新しい制服のデザインについては、今後、学校づくり部会で検討を進め、子供や保護者、教職員に意見を聞くなどして、平成27年度中に部会案をまとめていくこととしました。

6 通学路の現地確認 ～注意箇所の点検～

平成 28 年 4 月に統合を迎える各統合協議会では、新たな通学路の安全確保に向けて、協議会メンバーにより主な通学経路となることが見込まれる道路などの点検を実施しました。夏期と冬期にそれぞれ現地確認を行った後、その結果を踏まえて安全対策を検討していきます。



塩谷街道（稲穂5丁目）



本田沢通り（末広町）



豊川町～梅ヶ枝町



国道5号～塩谷駅



梅源線バス通り（清水町）



塩谷～オタモイ

7 学校見学と事前交流 ～統合後の学校生活に向けて～

平成 28 年の統合を見据えて、学校施設の見学や児童の事前交流が始まっています。

色内小児童の長橋小見学の様子(左)。手宮中央小の新校舎完成時には、関係4校の児童が見学しました(中央・右)。



ゲームや名刺交換、玉入れなどで交流する児童たち。緊張した顔が時間が経つにつれて自然と和らいでいきます。

8 統合後の様子を伺いました ～花園小PTAインタビュー～

平成 24 年 4 月の量徳小学校との統合から約 3 年が経過した花園小学校。

現在の学校の様子、統合当初にあった不安や戸惑いなどについて、PTA 会長の多田健一さんと副会長の坂元銅音さんのお二人に、実際に統合を経験した保護者の視点からお話を伺いました。

(多田さん) 息子が 3 年生になるときに統合を迎え、量徳小から今の花園小に通うようになりました。それまで 1 学年 1 クラスだった学校が 2 クラスとなり友達が増えました。量徳小では徒競走でいつも 1 番でしたが、今はもっと足の速い子がいるそうで、ライバルの出現は本人にとって刺激になっているようです。統合により通学距離が長くなったことで、以前と比べて朝は 30 分早く家を出るようになりました。スキー授業があるときなどは、重い荷物を背負っての登下校が大変なようです。



多田さん

(坂元さん) 娘は花園小に入学し、4 年生のときに統合を迎え、今年の 3 月で卒業です。音楽や体育の授業は、2 クラス合同で行うことがあるようですが、「自分のクラスの方がうまく歌えた」とほかのクラスと自分のクラスとを比べたり、意識したりするようになったのは、統合前の学校ではなかったことです。

(多田さん) 児童の人数はもちろんですが、先生方も増えて色々な面で学校が活気づいたと思います。初めて運動会を見たときにはその迫力に圧倒されました。人数が増えることで運動会はこれほど違うものなのかと、正直驚きました。



坂元さん

(坂元さん) 統合前は職員室に入っても全員の先生の名前を言えたのですが、今は先生が増えて、名前の分からない先生がいるほどです。統合を迎える前には、「統合後の学校って、何となくそわそわと落ち着かない雰囲気になるのかな？」実は、そんな心配をしていたのですが、スムーズに統合後の学校生活に移行できたという印象です。先生たちがみんな協力して、統合に向けた準備を周到に進めてくれていたのだと、今さらながら感じています。クラス分けをするにしても、花園小と量徳小それぞれで友人関係などに配慮していただきました。統合した当初は、保護者参観日に教室に行くと、量徳小の保護者同士、花園小の保護者同士と、それぞれのグループで固まってしまっている感じがありました。ただ、それも 1 年 2 年と時間が経つにつれて、自然に混ざり合ってしまったと思います。今では量徳小、花園小と意識することは、ほとんどありません。

(多田さん) 統合を迎えた年は、前年度の花園小 PTA 事務局がそのまま継続して残ってくれました。PTA としても統合を円滑に迎えようとの配慮からです。量徳小 PTA から事務局に入りました。お互いに配慮して、その辺りのバランスを取りながら進められたことは、良かったと思います。統合した 1 年後に花園小は開校 110 周年を迎えたのですが、実行委員会を組織して様々なイベントを実施したことも、保護者同士の結束を強くする良い機会になったと思います。

※※ 統合を控える学校の保護者の皆さんへのアドバイスなどがありましたらお願いします。

(多田さん) 統合協議会などで議論を重ねるうちに、地域の方々との連携がいかに大切かを改めて感じました。統合によって校区が広がりましたが、朝、町会の方々などが通学路に立って見守り活動をしてくださっています。保護者としても安心して子供を学校に送り出すことができ本当に感謝しています。花園小では統合協議会解散後も学校、保護者、地域の方々で構成する「学校サポート委員会」を設置して、定期的に情報交換を図っています。町会など地域の方々にとっても学校からの情報を得る貴重な機会になっていると同っています。他の学校でも統合に当たっては、地域とのつながりが重要になるのではないのでしょうか。



(坂元さん) 9 年間の花園小 PTA としての活動は、今年 3 月で卒業となりますが、今でも一貫して思うことは「子供のため」の PTA であってほしい、ということです。「子供のため」という原点を忘れずに、これからも誰もが発言しやすいオープンな雰囲気づくりを目指す組織であってほしいと願っています。

御協力ありがとうございました。

※ 詳しい内容は、小樽市ホームページにも掲載しています。[小樽市 学校再編 検索](#)